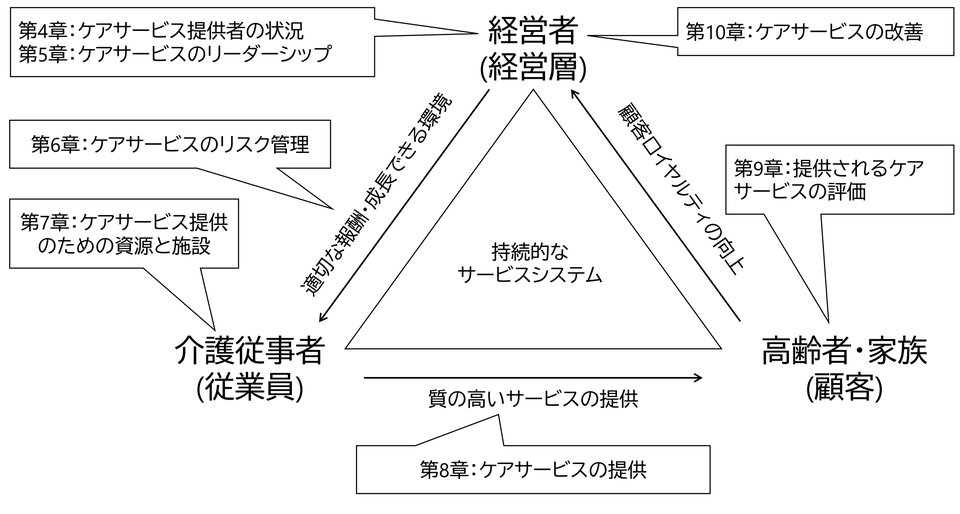
介護従事者と高齢者のウェルビーイングを考慮した介護の枠組みの検討

- ▶ 介護サービスの品質向上と継続的な改善に関する国際標準
- ▶ 介護従事者と高齢者の関係性や相互作用に着目した枠組みの拡張
- ▶ ウェルビーイングを持続的・効果的に推進するための枠組みを活用

介護の質に関する国際標準 (ISO 25557:2026)

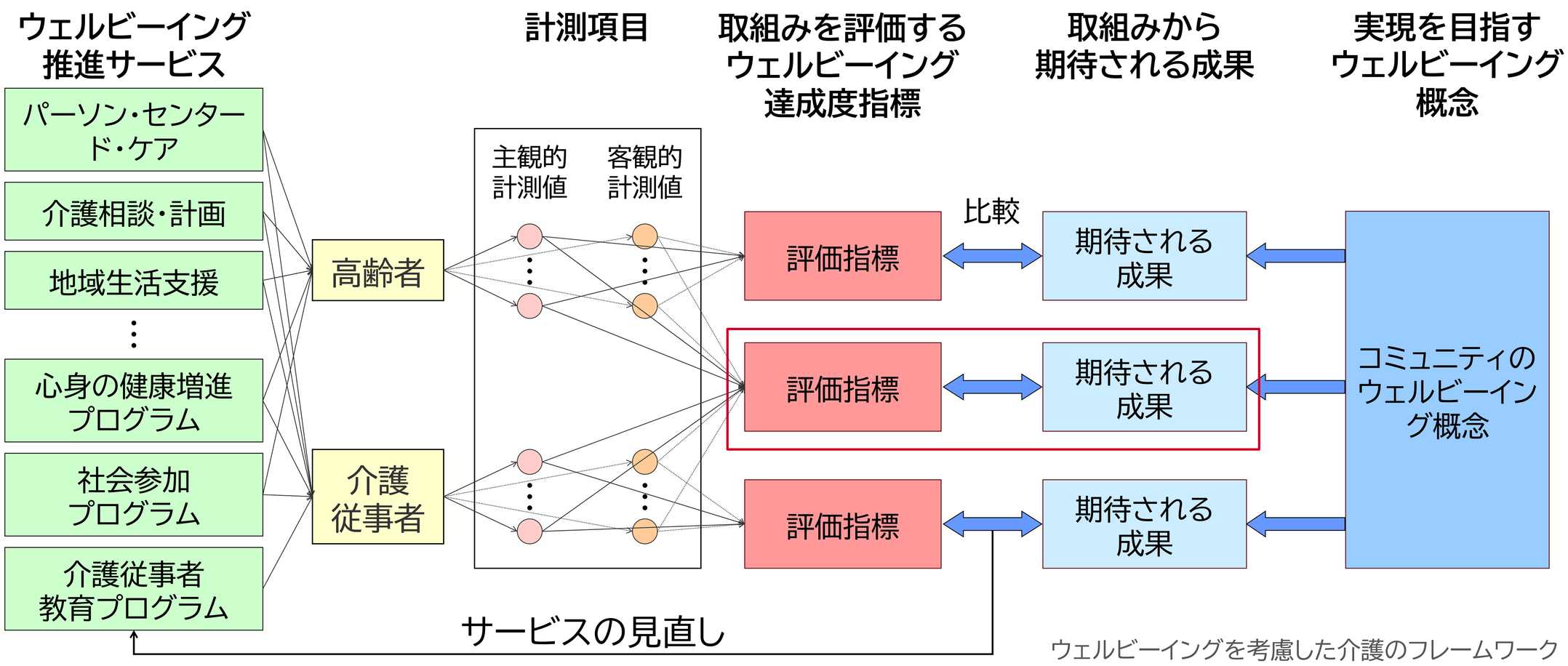
- ■ 包括ケアおよびパーソンセンタード・ケアの考え方に基づいたケアプランの設計とケアの提供を目指す
- ■ 介護事業者は組織基盤の整備からサービスの設計・提供, 評価, 改善までを一体として循環させる品質マネジメントに必要な要件を提供し, 継続的な介護の質の改善を実現
- ■ 多様な関係者が共通の枠組みを用いて、高品質の介護を提供し、継続的に改善するために使用



ISO 25557とステークホルダの関係

介護従事者と高齢者のウェルビーイングを考慮した介護の枠組み

- ■ ウェルビーイングに関する国際標準(ISO 25554:2024)で提供される企業や地域社会等におけるウェルビーイングを持続的かつ効果的に推進するための枠組みを活用
- ■ 質の高いサービスの提供には, 介護従事者も健康でウェルビーイングな状態であることが望ましい
- ■ 介護従事者, 高齢者の関係性で生まれる品質やウェルビーイングの効果を成果として加えることで, 両者の関係性や相互作用, 共創的な作用の評価を組み込む



ウェルビーイングを考慮した介護のフレームワーク

RiHSA 人間社会拡張研究部門

三輪　洋靖
情報・人間工学領域 人間社会拡張研究部門
ソシオデジタルサービスシステム研究グループ
連絡先:M-rihsa-liaison-ml@aist.go.jp

25TH ANNIVERSARY
産総研
ともに挑む。つぎを創る。